

北方校区の元気プラン

住民発！
北方校区 小地域福祉活動第三次計画



写真
北方市民センター

2023年～2027年



ふれあいネットワーク

北方校区社会福祉協議会

ごあいさつ

北方地区の地域福祉活動に日頃よりご理解ご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

私たちの町「北方校区」は、小倉南区の北部に位置し、国道322号線、県道曾根槻田線、都市高速やモノレールがあり、とても交通の便利な所にあります。

校区内にある競馬場、自衛隊・北九大等のこれらの施設は広大な敷地を有し、校区の約半分の面積を占めています。また、校区内に乳児保育所から大学までそろっている学園の町でもあります。

校区内には三つの系統の神社があり、祭りを個々に行うため、校区をまとめる為に20年前から市民センター横のさくら公園で「きたがたふれあいの夕べ（夏祭り）」を7月に開催し校区住民の連帯を深めています。

北方校区では、住民みんなが安心して暮らせるまちづくりを目指して、地域住民や社会福祉関係者が協力して地域福祉活動を進めてきました。

北方校区社会福祉協議会は、昭和36年7月27日の発足から、今年で61年になります。平成24年に小地域福祉活動第一次計画を作成し「みんながやさしさを感じるまち北方」をスローガンに福祉活動を展開し、今回が第三次計画の作成となります。第二次計画の成果と課題を踏まえこれからも、地域福祉を担う各団体と課題を共有し解決に向け、住民主導による地域福祉活動に取り組んでいきたいと思っております。

令和4年12月 北方校区社会福祉協議会

会 長 宮 浦 直 樹

| | |
|-----------------------------|-----|
| もくじ | 1P |
| 第1章 計画策定にあたって | 2P |
| 1 計画の性格 | |
| 2 計画の期間 | |
| 3 計画の策定経過 | |
| 第2章 北方校区の現状と課題 | 3P |
| 1 地域社会の動向 | |
| 2 地域の福祉課題(及び小地域福祉活動計画の課題) | |
| 第3章 計画体系 | 5P |
| 1 基本理念 | |
| 2 基本目標 | |
| 3 実施体系図 | 6P |
| 4 重点実施項目 安心・安全なまちづくり | 7P |
| 住民参加の健康づくり | 8P |
| 第4章 計画の推進 | 9P |
| 1 地域への計画の承認と周知 | |
| 2 計画を推進するための体制 | |
| 3 第4次計画の策定 | |
| 参考資料 | |
| 北方校区小地域福祉活動第三次計画推進委員会委員名簿 | 10P |
| 北方校区小地域福祉活動第三次計画策定委員会での協議事項 | 11P |

第1章 計画策定にあたって

北方校区社会福祉協議会

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、北方校区の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しをもって計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、北方校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会と協議する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 北方校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 計画の期間

令和5年度から令和9年度までの5カ年とします。計画の期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

北方校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関、団体等からの意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、北方校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置しました。平成25年に第一次計画を策定、平成30年に第二次計画を策定し、今回令和5年度からの第三次計画を策定するものです。

第2章 北方校区の現状と課題

1 地域社会の動向

北方校区のテーター

| | | | |
|-----------|--|-------------|------------|
| 人 口 | 10,564人 | 小 学 校 | 北方小学校 |
| 世 帯 数 | 7,178世帯 | 中 学 校 | 企救中学校 |
| 高 齢 化 率 | 23.8% | 市 民 セ ン タ ー | 北方市民センター |
| 1人暮らし高齢者 | 1,122人 | 地域包括支援センター | 小倉南3 |
| 福 祉 協 力 員 | 36人 | 地域交流センター | 北方地域交流センター |
| その他社会資源等 | 陸上自衛隊 北九州市立大学 小倉競馬場 小倉医療センター 国道工事事務所 総合療育センター 北方郵便局 | | |

| 年 齢 | 高齢者数÷総人口 | 全人口に 対する割合 | 高齢者間の割合 |
|-------|------------|---------------|---------|
| 65～69 | 541÷10,564 | 5.12% | 21.5% |
| 70～74 | 669÷10,564 | 6.33% | 26.6% |
| 75～79 | 464÷10,564 | 4.39% | 18.4% |
| 80～84 | 535÷10,564 | 3.34% | 14.0% |
| 85～ | 488÷10,564 | 4.43% | 19.4% |

北方校区は、北方一丁目～五丁目、城野一丁目～四丁目、下城野一丁目～二丁目、三丁目の一部、春ヶ丘、日の出二丁目からなり21の町内会があります。古くは旧小倉市街地の最南端でありあましたが、昭和49年に小倉南区が発足し、北方をはじめ、守恒、徳力、曾根の市街化も進んでいます。北方校区には広大な敷地を保有する施設が多くあるため、開発の余地はなく建物の高層化が進んでいます。

また、新 322 号線、都市高速、モノレールが整備され、交通量が増大したため従来の

環境は一変し地勢的に住民の一体感が分断された状況下にあります。一体感の分断は支え合いの社会を目指す北方校区にとって大きな問題と言えます。そのための施策として校区の住民すべてが共通の意識を持てるような方策を考えます。

2 地域の福祉課題(及び小地域福祉活動の課題)

北方校区では、平成 7 年よりふれあいネットワーク活動が展開され、平成24年に第一次、平成29年に第二次小地域福祉活動を策定し「みんながやさしさを感じるまち北方」をスローガンに活動を展開してきました。高齢化率は(23.8%)と低いが、これは、北九大の学生、自衛隊員、公務員宿舎等の若い世代が起因しており、北九大付近は低く他の地区は高齢化が高い。独居高齢者も年々増加しており孤独死が心配されます。

また、地域福祉の担い手である、民生委員(68.1歳)福祉協力員(72.0歳)と平均年齢が高く後継者の育成が急務となっています。

高齢者を対象にした詐欺行為が横行し、また新型コロナの感染が収まらず、高齢者との交流も、地域の行事も積極的にできない状況下ではありますが、民生委員、福祉協力員、老人会を活用し見守り活動の回数を増やし、高齢者を含めた校区住民の健康の増進に努めてまいります。

第3章 計画体系

1 基本理念

みんながやさしさを感じるまち北方

北方校区では、子供から高齢者まで、だれもが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願っています。そこで「みんながやさしさを感じるまち北方」という言葉を計画の基本理念として、計画を推進していきます。

2 基本目標

(1) 地域の活動(力)を高める

活動者の募集や育成、活動財源の安定的な確保に向けた活動を通じ、地域の活動力を強化します。

(2) 住民間のつながりを深める

地域交流の場所の設置やイベントを企画して、住民間のつながりを強めます。

(3) 安心・安全なまちづくりに努める

地域住民みんなで助け合い、ささえ合いながら誰もが安心して暮らせるまちにします。

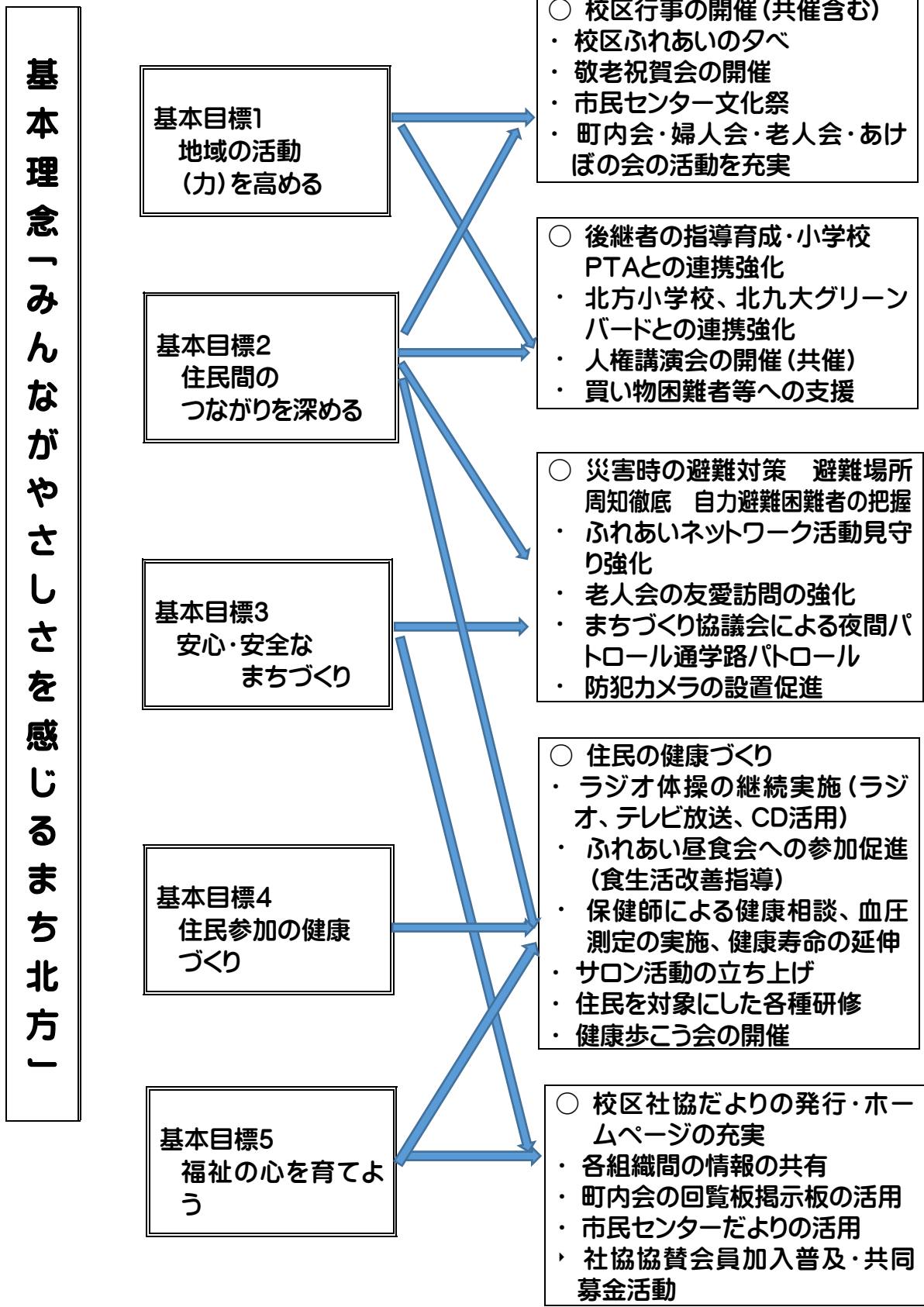
(4) 住民参加の健康づくりに努める

子どもから高齢者まで地域住民が心身ともに健康で笑顔で過ごせるよう努めます。

(5) 福祉の心を育てよう

福祉活動の広報啓発を通じて、地域に福祉の風土を広げます。

3 実施体系図



4 重点実施項目

| 重点実施項目 | 安心・安全なまちづくり | | | | | | | |
|--|------------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|----|---------------------------|
| 1 課題背景及び現状 | | | | | | | | |
| <p>昭和28年の大水害で紫川が溢水し、床上浸水の被害が多く発生した。堤防は整備されているがゲリラ豪雨等が発生すれば大被害も予想される。</p> <p>避難情報の種類や意味、避難場所、災害時の危険な場所等が周知徹底されていない。</p> | | | | | | | | |
| 2 活動方針・目標 | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年11月に作成、北方校区防災マップの再検討。 ・住民が避難情報を正しく理解するための講座を開催し、住民の防災意識を高める。 ・災害時避難困難者の把握、対象者への連携支援。 ・まちづくり協議会の、防災・防犯部会の活動強化。 | | | | | | | | |
| 3 段階的な取り組みと年次計画 | | | | | | | | |
| 取り組みの内容 | 連携する機関 | R 5 | R 6 | R 7 | R 8 | R 9 | 備考 | |
| 災害時の避難対策、避難場所の周知徹底、自力避難困難者の把握、防災に関する研修 | まち協 校区社協 あけぼの会 婦人会 | → | | | | | | 研修は年2回実施 催し等の開催 時周知 |
| ふれあいネットワーク活動の見守り強化 | まち協 校区社協 老人会 あけぼの会 婦人会 | → | | | | | | 民生委員、福祉協力員で随時実施 |
| 校区老人会の友愛訪問の強化 | まち協 老人会 あけぼの会 | → | | | | | | 会員同士による見守り活動、随時 |
| まちづくり協議会の防犯、防災部会の強化 | まち協 | → | | | | | | 年に2回勉強会の実施、地域巡回調査 |
| 防犯カメラの設置促進 | 自治会 まち協 市民センター | → | | | | | | 設置希望町内と調整、区役所に補助申請 |
| 点検・評価 | 校区社協 | | | | | → | | |

| 重点実施項目 | 住民参加の健康づくり | | | | | | | |
|--|------------------------------------|----|----|----|----|----|----|---------------------------------|
| 1 課題背景及び現状 | | | | | | | | |
| 高齢化率は23.8%、であるが、大学生や自衛隊員が多いため、実質は30%くらいである。又単身高齢者が多く、健康維持のための体制づくりが急務である。 | | | | | | | | |
| 2 活動方針・目標 | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・各種関係機関との連携強化 ・講師の招請 ・地域住民の参加促進 ・指導者の育成 ・認知症予防 | | | | | | | | |
| 3 段階的な取り組みと年次計画 | | | | | | | | |
| 取り組みの内容 | 連携する機関 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 備考 | |
| ラジオ体操の継続実施(ラジオ、テレビ放送、CD活用) | 自治会 まち協 校区社協 老人会 婦人会 | → | | | | | | 年間を通して実施 老人会については 7月から10月 |
| 保健師による健康相談、血圧測定の実施、健康寿命の延伸 | まち協 校区社協 老人会 あけぼの会 婦人会 | → | | | | | | 保健師による血圧測定 |
| ふれあい昼食会への参加促進(食生活改善指導) | 老人会 あけぼの会 | → | | | | | | 新型コロナ感染状況によるが基本毎月実施 |
| 住民を対象にした各種研修の開催 | まち協 校区社協 あけぼの会 | → | | | | | | 校区社協・あけぼの会・市民センターが担当 |
| サロン活動の立ち上げ | 校区社協 あけぼの会 老人会 | → | | | | | | 関係各団体に立上を働きかけ |
| 健康歩こう会の開催 | まち協 あけぼの会 | → | | | | | | 4月から11月のうち4回程度実施 |
| 点検・評価 | 校区社協 | | | | | → | | |

第4章 計画の推進

1 地域への計画の承認と周知

- (1) 校区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
- (2) 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼。
- (3) 計画書概要版の配布等を通じた校区住民への周知等、計画を推進していくために計画の広報活動を行います。

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、北方校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理を行います。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施等について、委員会で協議を進めていきます。

(2) 計画の進行管理

北方校区小地域福祉活動計画推進委員会を年 3 回程度開催し、次の点について確認します。

- ① 当年度の事業推進の確認
- ② 年度内における中間確認
- ③ 次年度の事業確認また必要に応じて開催

委員会では PLAN(計画立案)・DO(実行)・CHECK(点検・評価)・ACTION(改善)という PDCA のサイクルを回しながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合には、その原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画区間の中間時点では計画全体の中間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第4次計画の策定

第3次計画の推進状況を踏まえて、第4次計画の策定期間には新しく第4次計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。

参考資料

北方校区小地域福祉活動第三次計画推進委員会委員名簿

| | 氏名 | 所属団体 役職 | 備考 |
|----|-------|----------------|-----|
| 1 | 宮浦直樹 | 北方校区社会福祉協議会 会長 | 会長 |
| 2 | 森谷一久 | 北方校区自治連合会 会長 | 相談役 |
| 3 | 井上俊一 | 北方校区老人会連合会 会長 | 副会長 |
| 4 | 岩中照美 | 北方校区婦人会 会長 | |
| 5 | 上田學 | 北方校区体育委員会 会長 | |
| 6 | 菊池忠彦 | 北方校区老人会連合会 副会長 | 理事 |
| 7 | 大江珠江 | 北方校区婦人会 副会長 | |
| 8 | 前原浩二 | 北方校区体育委員会 副会長 | |
| 9 | 下川義文 | あけぼの会 | |
| 10 | 山崎一憲 | 北方小学校 校長 | |
| 11 | 田尻泰久 | 北方小学校 PTA 会長 | 事務局 |
| 12 | 清水友子 | 北方地区民児協 会長 | |
| 13 | 石動丸保幸 | 北方市民センター 館長 | |
| 14 | 中村多枝子 | 北方地区民児協 副会長 | |
| 15 | 松角美智子 | 北方地区民生委員・児童委員 | |
| 16 | 福田恵子 | 城野地区民生委員・児童委員 | |
| 17 | 幸野春美 | 北方市民センター 職員 | |
| 18 | 池邊和代 | 北方市民センター 職員 | |
| 19 | 西村小百合 | 北方市民センター 職員 | |
| 20 | 上村奈緒美 | 北方市民センター 職員 | |
| 21 | 桑野修次 | 北方市民センター 職員 | |

北方校区小地域福祉第三次計画策定委員会での協議事項

| 回 | 開催日 | 主な協議内容 |
|---|-----------|---|
| 1 | 令和4年5月23日 | 1 自己紹介 2 計画策定にあたって 3 予算について |
| 2 | 令和4年6月23日 | 1 地域の現状と課題について |
| 3 | 令和4年7月21日 | 1 基本目標の確定について 2 計画の重点実施項目について |
| 4 | 令和4年10月7日 | 1 計画体系について 2 基本理念について |
| 5 | 令和4年12月2日 | 1 計画書の最終確認について 2 印刷について 3 計画の広報について |



★社会福祉協議会のイメージキャラクター★



プチボザウルス』(Petit vo saurus)

Petit(**プチ**:ちっちゃな)

Volunteer(**ボ**ランテニア)

Saurus(**サウルス**≒恐竜)

北方校区社会福祉協議会

〒802-0841 北九州市小倉南区北方二丁目16-10 北方市民センター内
TEL 093-951-0133 FAX 093-951-0035

小倉南区社会福祉協議会

〒802-8510 北九州市小倉南区若園五丁目1-2
TEL 093-951-5388 FAX 093-951-5391

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた内
(代表)TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579
(地域福祉部)TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351